

環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業）

審査委員の意見を踏まえた総評

（令和6年3月29日～令和6年5月7日公募）

【全体】

・「くらしの10年ロードマップ」（令和6年2月 デコ活応援団（新国民運動・官民連携協議会））に則して、国民（消費者・働き手）にとっての行動制約要因（ボトルネック）を課題として認識し、そのボトルネックを構造的に解消するための仕掛け（取組・対策）についての具体的な検討がなされている等、本補助金の制度の趣旨に合致している申請を高く評価した。

・事業実施により、業界の内外に対し、広くボトルネックの構造的な解消に向けた効果を与え得ると考えられる申請を高く評価した。

・なお、本補助金を活用したプロモーションについては、補助対象事業の認知度の向上を通じて、上述のような、業界内外に対して広くボトルネック解消の効果を与えることを目的とする必要があり、この観点で、用途が明確化され、自主事業の販売促進費との棲み分けが明確になされていることが必要である。

上記の観点により審査を行った結果、ボトルネックの構造的な解消に資する具体的な仕掛け（対策・取組）が認められる事業として、衣及び住の分野において、事業の採択となった。

【衣】

概ね、評価は以下のとおり。

・「くらしの10年ロードマップ」にも記載の、国民がサステナブルファッションを实践できる機会の創出と、次世代の育成の観点を持ち合わせている申請を評価した。

・サステナブルファッションを巡る情報の非対称性を解消するためのインフラを整備する事業として業界内への効果が期待される申請を評価した。

【住】

概ね、評価は以下のとおり。

・「くらしの10年ロードマップ」にも記載の、住宅の省エネ化・再エネ導入の良さを実感・体感できる機会としてリアルの場とデジタル仮想空間の両方を提供することにより、幅広い世代ニーズに対応し、資金面のハードルを下げるための金融機関を含む様々な主体を巻き込んでいる申請を評価した。

以上